

センター便り

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1
山村留学センター「四季の里」
TEL: 0771-77-0232 FAX: 0771-77-0279
E-Mail: miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp

エルどらんど

1月22日、2年ぶりに福井県の高浜町にある若狭たかはまエルどらんどに行ってきました。コロナ禍前は毎年遊びに行っていた関西電力のPR施設です。2年前までは、熱帯魚等の魚類や昆虫類が展示されていたのですが、2020年11月に空中アスレチックをメインとした施設にリニューアルされました。アスレチックのほかにも、ボルダリングやジャングルネットなどの遊具があるのですが、子供たちは何と言ってもスリル満点の空中アスレチックを楽しみにしています。空中アスレチックには身長と体重の制限があり、ジュンカの身長が心配でしたがギリギリセーフで一安心。ヘルメットをかぶり、特別な安全装具を付けて係りの人の説明を受け「いざ、出発」。子供たちは思いのほか高さのある不安定なコースに苦戦しました。特にキマシンは顔がみるみる緊張に包まれ汗びっしょりに、3年生のジュンカも一歩踏み出すのがなかなか大変です。それでも係りの人のサポートを受け何とかコースをクリアしました。怖かったけれど楽しかったと喜んでいました。

大雪降りました



1月24日の夕方から25日にかけて、大雪警報が出るほどのこの冬一番の大雪となりました。大雪警報が出たため学校は休校になり、大変なことになったと困り顔の大人たちの横では、昨夜から40cmくらい積もった雪を窓から見て「にんまり」する子供たちの顔が。雪が降りやんだ昼前からスキーウェアに着替え、ソリを持って裏庭の傾斜地へ行き、何度も何度もソリで滑り降りていました。子供たちは午前中だけでは飽き足らず、午後からも裏庭へ、ソリ滑りに飽きるとお約束の雪合戦に汗を流していました。



断水と停電と雪かき

1月26日には橋の横を通る配水管が破裂し、断水となり歯を磨いたりうがいをするにも一苦勞。そして27日の夜からまたもや大雪となり、倒木のため28日未明から同日20時頃まで停電となりました。朝のうちに薄暗いセンターのホールで宿題をすませ、午後からはセンター周辺の雪かきをしました。50数cmの雪に埋まったセンター号の周辺の雪かきに汗を流すことに。雪かきを始めて数時間後には澤田さんがトラクターで応援に来てくれました。雪かきに飽きてくると、雪の中に飛び込んだり、雪の下を掘って「かまくら」を作ったりして楽しんでいました。夜になっても停電は続き、ローソクをともした中で食事をしたり、トイレや自分の部屋に行くのにも懐中電灯をぶら下げて行ったり、今までに経験したことのない生活に困惑しながらも何か楽しそうな雰囲気でした。

節分



2月3日、今日は節分です。明日4日は立春ですが、春とは名ばかりでまだまだ寒い日が続いています。今年も寮母さんに特大の恵方巻とイワシの塩焼きに大豆を添えた「節分メニュー」を作ってもらいました。子供たちに今年の恵方は「南南東やや南」という少しあやふやな方向を教えると、全員そちらを向いて大きな口を開いて静かに食べ始めたのですが、子供たちに「恵方」って何?、どうしてその方角を決めるのとか、なんで節分に豆まきしたり、「イワシ」を焼いて食べるの?とかの理由を話しても、子供たちはそんな話には余り興味がない様子で、お代わりをしてお腹いっぱいになって満足そうでした。



こども防災士養成講座



2月4日、今日はセンターで明治国際医療大学の教授と学生さんが、子供たちに防災の知識を体験しながら学ぶ「こども防災士」の養成講座を開いてくれました。子供たち全員がヘルメットを着用し、瓦礫などの下敷きになった人をジャッキで助けたり、一枚の毛布を使って倒れた人を運ぶ方法や、人形を使っての心肺蘇生のやり方を学びました。また、防災バックの中身を触らせてもらって、災害時にどんなものがよいか、日頃からの心がけなどを教えてもらい、子供たちは大変良い勉強になったと話していました。最後に教授から、一人ひとり終了証書を手渡してもらって、うれしそうにしていました。

バレンタインデー



2月12日、明後日はバレンタインデーです。ここ数年はコロナ禍の影響で、センターで手作りのチョコやクッキーを作るのを自粛していたのですが、今年は女の子たちの要望で寮母さんに教えてもらいながら手作りのチョコとクッキーを作ることにしました。女の子たちは朝の掃除をすますとエプロンをつけ厨房へ。蒸しパン、クッキー、チョコを作る人に分かれて作業開始。卵を割ったり、牛乳を入れたりと忙しそうです。中でもチョコを担当した人は板チョコを割って、それを湯煎して溶かすのに一苦勞。思ったより時間もかかるし、うでもだるくなったようです。それぞれ型に入れて蒸したり焼いたりして、50人分完成です！

お母さんの一人言

三寒四温とは、良く言ったもので、少しづつ春に近づいて来たように思われます。

さて、いよいよ山村留学団所まで一ヶ月を切ってしまいました。今は過去のアルバムに目を向け、沢山の皆様にお世話になったんだなアと思い乍ら、子供達と以前はこんな事していたんだなどと懐かしんでいる毎日です。

鬼の面作り

2月5日、2月3日はスキー教室があって高学年の帰りが遅くなったり、4日もこども防災士養成講座を受けてりて、未だ節分の「豆まき」が出来ていません。そこで今朝は鬼の面をそれぞれが作って、希望する人が鬼役となり、豆まきをすることにしました。青鬼、赤鬼、黄鬼、ピンク鬼とかわいい鬼や、ユニークな鬼が出来上がりました。鬼役を買って出てくれたのはオガシンとキョーカです。その他の子供たちは二人めがけて「鬼は外」「福は内」と元気いっぱい豆をぶつけました。二人の鬼役さん、お疲れさまでした！



2月誕生日会

2月19日、今日は2月6日に10歳になるキョーカと2月29日に11歳になるシュホの誕生日会をしました。今回はヨコが中心となり、二人にみんなのメッセージ入り色紙を作成してくれることに。今回寮母さんをお願いして作ってもらったケーキはシュホが抹茶のケーキで、キョーカはチョコレートケーキでした。食堂の電気を消してケーキのろうそくに火をつけ、「ハッピーバースデーツューユー」の歌の後に火を吹き消し、二人は色紙とプレゼントを手渡してもらってうれしそうにしていました。ケーキを食べながら、自分で選んだプレゼントの紹介をしたりして、思い出に残る楽しいひと時を過ごせたようです。

